

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公表番号】特表 2005-534994 (P2005-534994A)
 【公表日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-045
 【出願番号】特願 2004-527788 (P2004-527788)
 【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 14 日 (2006.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の角膜のための角膜矯正コンタクトレンズであって、
 ベースカーブ (30) によって定められる湾曲を有する光学ゾーン (20) と、
 前記光学ゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するプラトーゾーン (22) であって、
 前記ベースカーブ (30) よりも平坦なプラトーカーブ (34) によって定められる湾曲を有するプラトーゾーン (22) と、
 前記プラトーゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するフィッティングゾーン (24) であって、前記プラトーカーブよりも急勾配のフィッティングカーブ (36) によって定められる湾曲を有するフィッティングゾーン (24) と、
 前記フィッティングゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するアライメントゾーン (26) であって、前記フィッティングカーブよりも平坦なアライメントカーブ (38) によって定められる湾曲を有するアライメントゾーン (26) と、
 前記アライメントゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸する周辺ゾーン (28) であって、周辺カーブ (42) によって定められる湾曲を有し、かつ、涙液リザーバとして働く縁リフトを形成する周辺ゾーン (28) とを、
 含んでなるコンタクトレンズ。

【請求項 2】

患者の角膜のための角膜矯正コンタクトレンズであって、
中心部から周囲部まで連続して平坦な非球面カーブを形成するように正の e 値を有する光学プラトーゾーンであって、前記非球面カーブは、より小さい正の値の、ゼロの、又はマイナスの度となるように平坦になる光学プラトーゾーンと、
 前記プラトーゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するゾーン (24) であって、前記非球面カーブの最も遠い部分よりも急勾配であるフィッティングカーブ (36) によって定められる湾曲を有するフィッティングゾーン (24) と、
 前記フィッティングゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するアライメントゾーン (26) であって、前記フィッティングカーブよりも平坦なアライメントカーブ (38) によって定められる湾曲を有するアライメントゾーン (26) と、
 前記アライメントゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸する周辺ゾーン (28) であって、前記プラトーカーブ (22) よりも 0 - 15 ジオプター平坦な周辺カーブ (42)

によって定められる湾曲を有し、かつ、涙液リザーバとして働く縁リフトを形成する周辺ゾーン（２８）とを、
含んでなるコンタクトレンズ。

【請求項３】

請求項２のコンタクトレンズであって、前記非球面カーブの前記中心部は前記角膜の中心部の測定された湾曲（１２）よりも急勾配であるコンタクトレンズ。

【請求項４】

患者の角膜のための角膜矯正コンタクトレンズであって、

内側光学ゾーン（２０ａ）及び外側光学ゾーン（２１ａ）を含む光学ゾーンであって、
前記内側光学ゾーンは、内側カーブ（３０ａ）によって定められる湾曲を有し、前記外側光学ゾーンは前記内側カーブよりも急勾配の外側カーブ（３１ａ）によって定められる湾曲を有する光学ゾーンと；

前記外側光学ゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するフィッティングゾーン（２４）であって、前記外側カーブよりも急勾配のカーブであるフィッティングカーブ（３６）によって定められる湾曲を有するフィッティングゾーンと；

前記フィッティングゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するアライメントゾーン（２６）であって、前記フィッティングカーブよりも平坦なアライメントカーブ（３８）によって定められる湾曲を有するアライメントゾーンと；

前記アライメントゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸する周辺ゾーン（２８）であって、周辺カーブ（４２）によって定められる湾曲を有し、涙液リザーバとして働く縁リフトを形成する周辺ゾーンとを、
含んでなるコンタクトレンズ。

【請求項５】

請求項４のコンタクトレンズであって、前記外側光学ゾーンは、前記外側カーブに等しいか又はそれよりも平らな湾曲を有するプラトーカーブによって定められるプラトーゾーン（２２）を有し、前記プラトーゾーンはそれから放射状に延伸する前記外側光学ゾーンに繋がり、前記プラトーゾーンはプラトーカーブ（３４）によって画定される湾曲を有し、前記プラトーカーブは前記外側カーブ（３１ａ）に等しいか又はそれよりも平坦であるコンタクトレンズ。

【請求項６】

請求項５のコンタクトレンズであって、前記プラトーゾーンは正のe値によって前記外側光学ゾーンに合流して連続的に平坦な非球面カーブを形成し、前記非球面カーブはより小さい正の値の、ゼロの、又はマイナスの度となるように平坦になるコンタクトレンズ。

【請求項７】

患者の角膜のためのコンタクトレンズであって、

内側カーブ（３０ｂ）によって定められる湾曲を有する内側光学ゾーン（２０ｂ）と；

前記内側光学ゾーンとの合流点から周辺部まで連続して平坦である非球面カーブを形成するために正のe値を有する外側光学プラトーゾーンと；

前記プラトーゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するフィッティングゾーン（２４）であって、フィッティングカーブ（３６）によって定められる湾曲を有し、前記フィッティングカーブは前記非球面カーブのいちばん遠い部分よりも急勾配であるフィッティングゾーンと；

前記フィッティングゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸するアライメントゾーン（２６）であって、前記フィッティングカーブよりも平坦なアライメントカーブ（３８）によって定められる湾曲を有するアライメントゾーンと；

前記アライメントゾーンに繋がり、そこから放射状に延伸する周辺ゾーン（２８）であって、周辺カーブ（４２）によって定められる湾曲を有して涙液リザーバとして働く縁リフトを形成する周辺ゾーンと、
を含んでなるコンタクトレンズ。

【請求項８】

請求項 7 のコンタクトレンズであって、前記非球面カーブの前記合流点は前記角膜の中心部の測定された湾曲（ 1 2 ）と同じ湾曲であるか又はそれよりもより急勾配であるコンタクトレンズ。

【請求項 9】

患者の角膜のためのコンタクトレンズであって、

内側カーブ（ 3 0 b ）によって定められる湾曲を有する内側光学ゾーン（ 2 0 b ）及び外側カーブ（ 3 1 b ）によって定められる湾曲を有する外側光学ゾーン（ 2 1 b ）を含む光学ゾーンであって、前記内側カーブは前記外側カーブよりも急勾配である光学ゾーンと；

前記外側光学ゾーンに繋がれて、そこから放射状に延伸するプラトーゾーン（ 2 2 ）であって、プラトーカーブ（ 3 4 ）によって定められる湾曲を有し、前記プラトーカーブは前記内側カーブと前記外側カーブよりも平坦であるプラトーゾーンと；

前記プラトーゾーンに繋がれて、そこから放射状に延伸するフィッティングゾーン（ 2 4 ）であって、前記プラトーカーブよりも急勾配のフィッティングカーブ（ 3 6 ）によって定められる湾曲を有するフィッティングゾーンと；

前記フィッティングゾーンに繋がれて、そこから放射状に延伸するアライメントゾーン（ 2 6 ）であって、アライメントカーブ（ 3 8 ）によって定められる湾曲を有し、前記アライメントカーブは前記フィッティングカーブよりも平坦であるが前記プラトーカーブよりも急勾配であるアライメントゾーンと；

前記アライメントゾーンに繋がれて、そこから放射状に延伸する周辺ゾーン（ 2 8 ）であって、周辺カーブ（ 4 2 ）によって定められる湾曲を有して涙液リザーバとして働く縁リフトを形成する周辺ゾーンと、

を含んでなるコンタクトレンズ。

【請求項 1 0】

請求項 9 のコンタクトレンズであって、前記プラトーゾーンは正の e 値によって前記外側光学ゾーンに合流して連続的に平坦な非球面カーブを形成し、該連続的に平坦な非球面カーブはより小さい正の値の、ゼロの、又はマイナスの度となるように平坦になるコンタクトレンズ。